

2023.5.8 以降の COVID-19 対応マニュアル

2023 年 5 月 1 日
感染対策委員会

PPE について

基本的には標準予防策を実施し、陽性(疑い)患者については患者との接触の程度によって選択する。患者に直接触れない、または手だけの接触の場合はサージカルスク(N95 マスク)+アイガード+手袋、身体接触の可能性がある場合にはフル PPE (N95 マスク+アイガード+手袋+ガウン)で対応する。詳細は別紙 1 を参照。

別紙1

5/8以降のCOVID-19患者(疑い)対応時のPPE

基本的に標準予防策を実施	PPE: サージカルマスク(N95マスク) +アイガード+手袋	
	点滴交換 配膳、配薬 環境整備 採血 車イス(軽介助) ストレッチャー(移送するだけ)	血糖測定 排液交換 荷物の受け渡し 検体採取(PCR、抗原)
	※患者がマスクを外す可能性がある場合は必ずN95マスクを着用	
PPE: N95マスク+アイガード+手袋+ガウン(帽子は必要時)		
VS測定・診察 清潔ケア 食事介助・内服介助 吸引 車イス(要介助) NPPV装着などのエアロゾルが発生する場合 ポータブルレントゲンやCT撮影等で介助を要する場合		体交、オムツ交換 シーツ交換 経管栄養 ストレッチャー(移動介助あり)

2023年4月28日 感染対策委員会作成

2023.5.8 以降の COVID-19 対応マニュアル

2023 年 5 月 1 日
感染対策委員会

スクリーニング目的の PCR 検査対象

- ◆ 緊急入院
- ◆ 全身麻酔による手術前の患者
- ◆ 予定入院で発熱・急性の上気道症状がある患者
- ◆ 内視鏡・気管支鏡・歯科処置を入院対応で実施する場合
- ◆ 入院 1 週間以内に挿管・NPPV・NHF 等を行う場合

入院患者の病室選定

陽性者: 3 西の陽性病床へ

それ以外: 一般病棟へ。大部屋・個室の判断は各主治医判断とする。ただし、入院後すぐに NPPV や NHF を装着する場合は個室にし、翌日 PCR 再検して陰性なら大部屋可とする

陽性患者の入院経路

平日日勤帯: 3 西スタッフが迎えに行く

夜間・休日: 救外スタッフが 3 西へ搬送する

※搬送時の PPE は上記の対応に準ずる。人扱いは不要だが速やかに移動し、エレベーターに他の患者やスタッフが同乗しないように注意する。

入院中の患者の発熱時対応

入院 1 週間以内の発熱・上気道症状があった場合には COVID-19 抗原検査を実施。

陽性の場合(Ct 値 30 以下): 陽性患者として 3 西陽性病床へ移動。

同室者(濃厚接触者)は、3 西へ移動せず、各病棟の個室もしくは大部屋で疑い患者として対応。最終接触日を 0 日とし 5 日目に PCR 検査を実施し、陰性なら解除可。

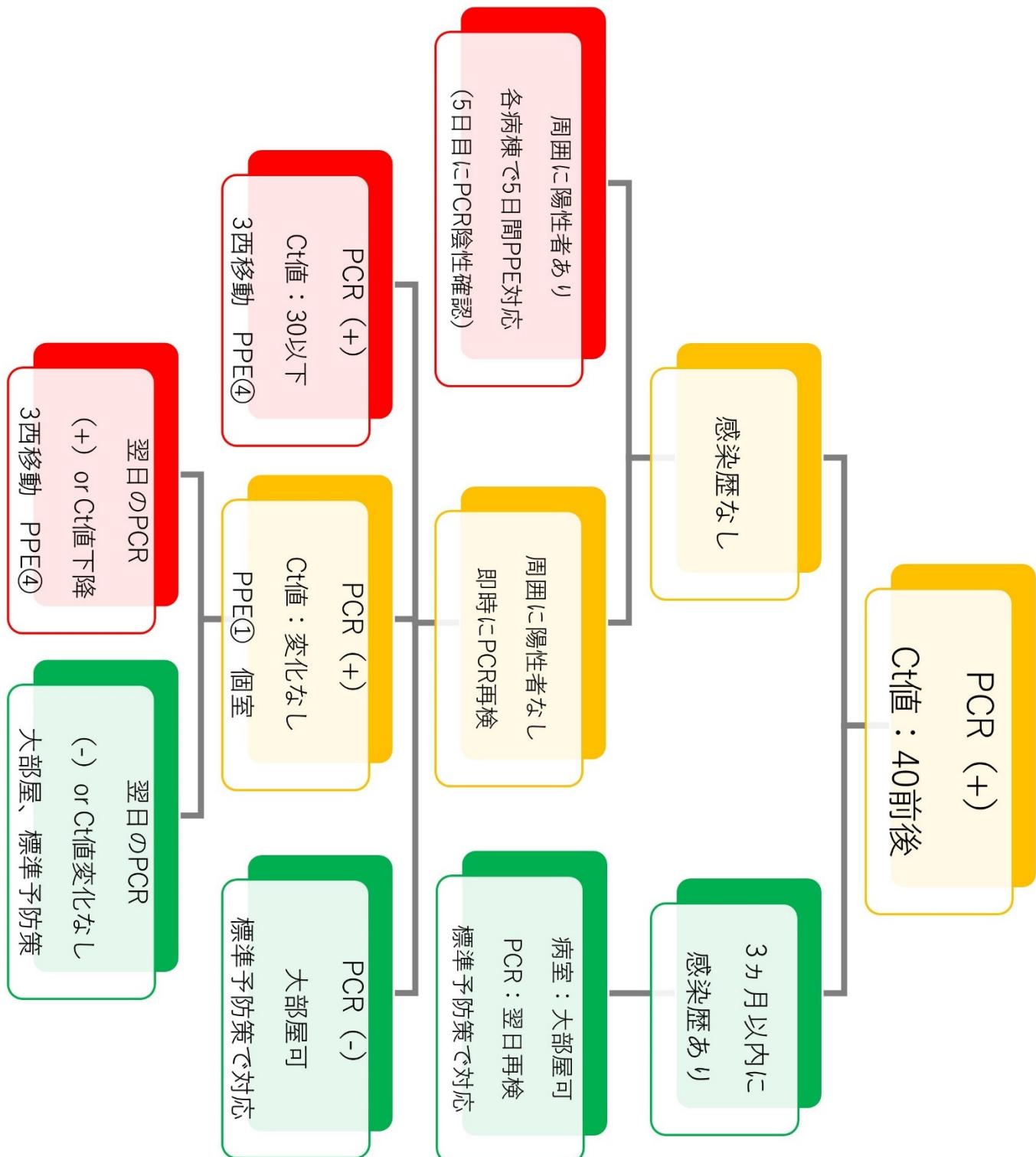
陽性の場合(Ct 値 40 前後): 偽陽性として別紙 2 を参照し対応。

陰性: これまで通りの対応

2023.5.8 以降の COVID-19 対応マニュアル

2023 年 5 月 1 日
感染対策委員会

別紙 2



リスク評価

陽性者との「接触した条件」「自分の着用していた PPE」で確認(詳細は別紙 3)

別紙3

5/8以降のCOVID-19リスク評価

「接触した条件」

以下のすべてに該当する場合には下に進む

- 陽性者の発症2日前から隔離開始までの間に接触があった
- 15分以上の接触があった
(エアロゾル発生処置の場合には時間の長さは考慮しないため、実施したら該当とする)
- 推奨される防護具を着用せずに陽性者から2メートル以内にいた



「自分のPPE」

以下、ひとつでも該当する場合は下へ進む

- 自分がサーボカルマスク、N95マスクのどちらも着用なし
- 陽性者がマスク着用なく、自分がマスク、アイガードを片方または両方着用なし
- エアロゾル発生処置時にN95マスク、アイガードを片方または両方着用なし



5日間の厳重な健康観察の対象となる(最終接触日を0日目と考える)

- 厳重な健康観察の上で症状が無ければ出勤可
- 当面の間、5日間症状の出現なくとも、5日目にPCR検査を実施する
- 発熱など明らかな症状出現時は、みなし陽性として発症日から5日間出勤停止、6日目もしくは症状軽快24時間後に自分で抗原検査を実施
 陰性→出勤可 陽性→発症から10日目まで就業停止、11日目から復帰
- 軽微な症状で迷う場合は、抗原検査を実施し、陰性なら出勤可

2023.5.8 以降の COVID-19 対応マニュアル

2023 年 5 月 1 日
感染対策委員会

職員の対応

陽性者：発症から 5 日間の就業停止。症状が軽快していれば 6 日目、軽快していない場合は症状軽快 24 時間後に自宅で抗原検査を実施。

陽性の場合：発症から 10 日目まで就業制限を延長、11 日目から出勤可

陰性の場合：出勤可

※抗原キットは陽性判明後、所属長から ICN 神津(PHS:7841)へ連絡後、救急外来で受け取りが可能。

連絡がない場合には抗原キットは渡せません。また病院まで抗原キットを取りに来なくても、薬局等で一般用検査薬として販売されているキット(別紙 4 参照)を使用してもかまいません。

陽性者と接触がある場合：リスク評価で自分のリスクを確認し、健康観察の対象となった場合には、健康観察を厳重に行いつつ、体調に変化が無ければ出勤可。当面の間、5 日目に PCR 検査を実施する(結果待ちの間就業可)。PCR 検査は病棟などは各部署で実施、それ以外の部署は 14 時から検査部にて実施。陽性者との接触から 5 日目以内に発熱や急な上気道症状の出現があった場合にはみなし陽性とし、発症日から 5 日間の出勤停止。以降の対応は陽性者の対応と同じ。軽微な症状で迷う場合には抗原検査を実施する。

家族の体調不良時の対応

発熱や急性の上気道症状がみられた場合は、可能な限り抗原検査を実施する。検査は一般用検査薬(別紙 4 参照)でも可。

検査で陽性となった場合には ICN 神津(PHS:7841) へ報告すること。

発熱外来

成人は、2023 年 5 月 23 日(火)より診察は新患外来、検体採取は検査部で実施。

小児は、これまでどおり小児科外来にて診察 & 検体採取を実施。

処方薬

2023 年 5 月 8 日以降、コロナ治療薬(ゾコーバなど)は院外薬局対応不可なので、院内処方とする。解熱剤などのみであれば院外薬局にて対応可能。その際、院外薬局へ連絡は不要。

体調に異変を感じたら ～自分で検査、すばやく療養～

「コロナ？インフル？」と思ったら

医療機関に行く前に

- ① あわてずに、症状や常備薬をチェック
- ② 国が承認したキットを用いてチェック

チェック①

- ◆ 「症状はいつから？」 「どんな症状？」
- ◆ 解熱鎮痛薬の備えはありますか？



チェック②

- ◆ 抗原検査キットが一般用検査薬 (OTC) として認可され、尿糖/尿蛋白検査薬や妊娠検査薬と同じ扱いになりました。
- ◆ コロナのみのキットとコロナ・インフル同時キットがあります。
- ◆ インターネットや薬局で購入できます。
- 「第1類医薬品」の表示があるものを使いましょう。



検索ワード『コロナ OTC』

【陽性だった場合】

症状が軽い場合は、自宅等で療養しましょう。

重症化リスクの高い方（高齢者、基礎疾患有する方、妊婦など）や、症状が重いなど受診を希望される方は、医療機関に連絡しましょう。

【陰性だった場合】

症状がある場合にはマスク着用や、手洗い等の基本的な感染予防対策を継続しましょう。

受診する？しない？

迷ったときは、お住いの地域の相談窓口や下記を参考にして下さい

☆おとな救急電話相談 | 茨城県「#7119」 千葉県「#7009」

☆こども救急電話相談 | 「#8000」

JAとりで
2023.4月